



開発のための教育

ACTIVITY

『形あわせ』(相互依存を学ぶアクティビティ)

目的

自分の行動がグループ全体に影響する活動を通して、コミュニケーションや協力の大切さを学ぶ。

人数

6人グループが複数できる人数

所要時間の目安

45分

用意するもの

紙片入りの封筒セット (1参照)

課題 と **ルール** (掲示できるように用意しておく)

すすめかた

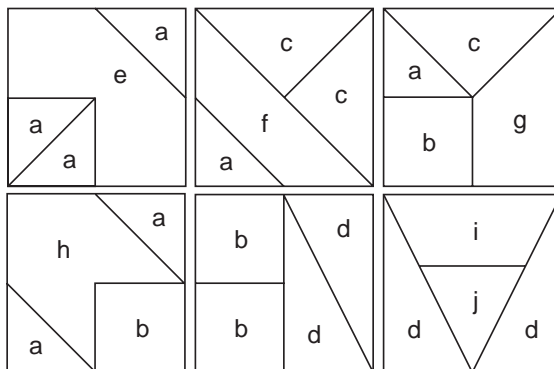
1

紙片入り封筒の用意

下図の正方形の紙片を、次のような組み合わせで6つの封筒に入れておく。6つの封筒セットはグループ数分用意しておく。

- 【封筒1】 a、a、a、j
- 【封筒2】 a、a、b、b
- 【封筒3】 a、b、c、d
- 【封筒4】 a、b、g、h
- 【封筒5】 c、c、d、e
- 【封筒6】 d、d、f、i

人数の関係で5人(4人)のグループができてしまう場合は、1つの(2つの)正方形の紙片分を除いた残りの紙片を5つ(4つ)の封筒に分けてセットしておく。



2

6人組のグループをつくる

3

活動手順の説明

指導者は「課題」と「ルール」を掲示し、読み上げて説明する。各グループに紙片の入った封筒を人数分配る。参加者はまだ封筒を開けてはならない。

封筒の配布後、指導者は再度「課題」と「ルール」を読み上げ、スタートの合図をする。

4

活動

活動時間は30分とする。指導者はルール違反が起きないようにチェックする。

「どんな図形になるか？」等ヒントになるような質問には答えないようにする。

課題を達成したグループは、他のグループに正解が見えないようにして待つ。

時間内に課題を達成できないグループもあるかもしれないが時間で区切る。

5

話し合い

以下のような点について全体で話し合う。

言葉やジェスチャーが使えないことでどのような障害があったか。その障害をのりこえて課題を達成するためにどのようなことをしたか。

グループの中で自分だけが課題を達成した(と思った)とき、どう思い何をしたか。

グループ全員ができたとき、どう思ったか。

この活動を通じて学んだこと、感想等。

課題

配られた紙片すべてを使って、同じ形、大きさの図形を各自の前に1つずつ作る。

ルール

作業は無言で行う。
ジェスチャーや合図などもしてはいけない。
自分の欲しい紙片を、他のメンバーから勝手にとることはできない。
自分の持っている紙片を他のメンバーに渡すことはできる。(ただし全部を渡すことはできない)
紙片を渡すときには必ず相手の手に渡す。
紙片を渡されたら断わることはできない。

